

2017年10月25日

富国生命保険相互会社  
 フィンランド地方金融公社  
 クレディ・アグリコル証券会社

フィンランド地方金融公社の「グリーン・ボンド」の購入について  
 ～債券投資を通じた社会貢献事業支援～

富国生命保険相互会社（社長 米山好映、以下、「富国生命」）は、フィンランド地方金融公社（Municipality Finance、略称「Munifin（ミュニフィン）」、ムーディーズ：Aa1、スタンダード&プアーズ：AA+）が発行する環境保護をテーマとする債券（「グリーン・ボンド」、以下、「本債券」）への投資を決定し、10月25日に払込みが完了しました。本債券はMunifinが機関投資家向けに初めて私募形式で発行するものであり、富国生命は発行された本債券の全額を購入しました。本件の概要についてお知らせいたします。

Munifinは、2016年の始めにグリーン・ボンドの発行を開始しました。グリーン・ボンドにより調達した資金は、環境に優しい公共交通機関、環境に配慮した建造物、上下水道管理、再生可能エネルギーやエネルギー効率化など、フィンランド国内の環境保護に関するプロジェクトへの融資に活用されます。Munifinは、支援するプロジェクトを厳選し、資金の流れの透明性を高め、より効果的に環境保護に貢献することを目指しています。

富国生命では「社会への貢献」を経営理念のひとつに掲げており、企業の社会的責任（CSR）を果たすため、生命保険事業の高い公共性を踏まえ、本業である生命保険事業の健全な運営に努めると同時に、よりよい社会づくりを目指してさまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

本債券の購入については、ご契約者の大切な資金を運用するにあたって、収益性の確保のみならず、社会貢献事業への支援も果たしうる手法であると位置づけています。富国生命では、今後も同様の投融資を継続的に実施していきます。

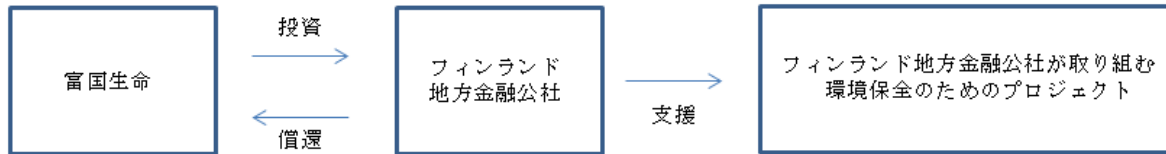
発行概要

発行体	フィンランド地方金融公社（Munifin）
起債通貨	オーストラリア・ドル
発行総額（購入額）	5,000万オーストラリア・ドル 44億円相当額 *1 オーストラリア・ドル=88円にて計算
受渡日	2017年10月25日
償還日	2027年10月25日
発行利率	3.379%
アレンジャー	クレディ・アグリコル証券会社

以上

《ご参考》

#### 本債券の購入による社会的責任投資の仕組み



本件は、クレディ・アグリコル証券会社を通じ、債券の発行体である MuniFin と、資金の出し手である富国生命との直接的な協議を経て私募形式にて実現しております。

#### ■ フィンランド地方金融公社 (Munifin) について

Munifin は、フィンランドの地方自治体、その子会社及びフィンランド国内の非営利住宅会社に対する融資に特化した、フィンランドにおける最大級の金融機関のひとつです。Munifin は、フィンランドの地方自治体が手掛けるヘルスケア、教育及び環境関連のプロジェクトや、非営利住宅会社による公営住宅建設への融資を通じてフィンランドの社会福祉を促進することを目指しています。Munifin の株主は、フィンランドの中央政府、地方自治体及び公共機関で構成されています。Munifin に関する更なる情報は、以下の Munifin のホーム・ページよりご覧いただけます。

フィンランド地方金融公社 (Munifin) : <https://www.munifin.fi/>

#### ■ Munifin の環境保護をテーマとする債券「グリーン・ボンド」とは

Munifin は、環境保護に関するプロジェクトへの支援を目的に、グリーン・ボンドによる資金調達を行っています。グリーン・ボンドによって調達した資金は、厳選された多数のプロジェクトに融資され、フィンランド国内の環境保護に貢献しています。現在、その構成は、公共交通機関 (57%)、環境に配慮した建造物 (36%)、上下水道管理 (4%)、再生可能エネルギー (2%)、及びエネルギー効率化 (1%) となっています。グリーン・ボンドが環境に与える効果については、グリーン・ボンド投資家に向けた年次公告として Munifin のウェブサイトに掲載されます。

また、融資の対象となるプロジェクトについては、環境保護の目的にふさわしいプロジェクトか否かを見極めるため、独立した専門委員会が、プロジェクト採用のための審査、承認及びそのプロジェクトの環境に対する影響度を分析・評価しています。さらに、第三者機関からの評価 (セカンドオピニオン) もその分野での主要機関 (Stockholm Environment Institute と CICERO) より取得しており、より説得力のある環境保護のための枠組みを目指します。

【プロジェクト選定の流れ】



- 始めに、Munifinのカスタマーファイナンス部門が、あらかじめポートフォリオに組み込む可能性があるプロジェクトを識別・評価し、独立した専門委員会にかけ準備をします。
- 次に、Munifinの独立した専門委員会がプロジェクトの長期的な視点での環境に対する影響を評価し、受け入れ可否を決定します。
- その後、選定されたプロジェクトは、環境に対する影響度を独立した専門委員会により評価され、影響度の大小によって分類されます。分類結果は、プロジェクトに対する融資条件を決定する際のひとつの要素となります。

【Munifinプロジェクト事例】

○ タンペレのトラムラインプロジェクト

プロジェクト概要	
目的	
フィンランドの地方都市「タンペレ」における公共交通機関をバスから二酸化炭素（以下、CO2）排出量の少ないトラムライン（公共の路面電車）に移行し、公共交通機関関連で発生するCO2を削減すること。尚、トラムラインの定員数はバスの約3倍である。定員数と車両の平均寿命から考えると、バス 225台分のサービスをトラムライン 25 台で提供することが可能となる。	
期待される効果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● タンペレ地域の公共交通機関から発生している CO2 を年間約 11,300 トン削減できる。</li> <li>● バスの車両数が削減されることにより、それらの製造やメンテナンスから発生する CO2 も間接的に削減できる。</li> </ul>	
Munifin 貸出額	155 百万ユーロ
分野	公共交通機関
実施期間	30 年間



著作権: Munifin